

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「学力伸長と進路実現」「心の教育の充実」を教育目標とし、教職員が生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導により生徒が学ぶ喜びを経験し、社会に貢献できる力をもった生徒を育てます。学び直しや昼間働くなど様々な条件の中で、「過去は変えられないが未来は変えられる」と強い意志を持ち、夜に学ぶ必要のある生徒を応援します。「三国丘の定時制の生徒なら大丈夫」と学校内外から評価・信頼される学校をめざします。

- 1) 学業と仕事を両立し、休まずに毎日の授業を大切にする生徒を育てます。
- 2) 地域に信頼され愛される学校の取組を通して、他者を思いやり、ルールを守って主体的に行動ができる生徒を育てます。
- 3) 丁寧な個別指導、キャリア教育を通して、社会に貢献できる生徒を育てます。

2 中期的目標

1 学力伸長と進路実現（本校キャリア教育の推進）

- (1) 学力の定着と伸長を図り、確実な進路実現を果たす。
 - ア 中学校段階以前の欠落部分を補完することが可能な教育課程を編制し、学習到達度の幅が広い教科（数学・英語）では習熟度別授業を実施し、進路選択時に必要とされる学力を獲得させる。
 - イ ICT機器などを活用した授業を行い、公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用して、組織的な授業力向上にさらに取り組み、学力伸長を図る。
※学校教育自己診断の生徒の授業満足度を毎年引き上げ、R5年度までには80%をめざす(H30 74%、R1 65%、R2 70%)。

- (2) 卒業後の進路を生徒が各自で思い描けるよう、各年次段階に応じて適切な情報を提供し、社会貢献を理解させる。
 - ア 進路指導計画に基づき、各年次に応じて年間数回の進路選択とキャリア能力の育成のためのホームルーム、及び進路説明会を実施する。
 - イ キャリアパスポートを活用し、年次に応じたキャリア教育を実施することで、進路意識の段階的醸成を図る。

- (3) 進路指導体制の強化により、進路実績の向上をめざす。
 - ア 卒業年次には、面談、面接・履歴書指導など生徒個々に合わせた丁寧な指導体制により、確実な進路実現を図る。
 - イ 3年間または4年間を見通したキャリア教育を推進し、卒業後の進路決定に向けた意識を高める。
※R5年度も学校紹介等による就職と大学・短大等進学の実績（卒業生総数に対する割合）95%以上(H30 100%、R1 100%、R2 100%)をめざし、若年無業者5%未満を維持する(H30 0%、R1 0%、R2 0%)。

2 心の教育の充実（モラル教育に重点を置いた教育体制の構築）

- (1) 「社会で正しく生きる」ために、他者を尊重する姿勢を身につけさせる。また、地域交流を通じて自己有用感を高める。
 - ア 「社会の一員」としての自覚醸成のため、生徒有志による地域との連携活動に積極的に取り組む。
※地域清掃活動を年4回（夏季と冬季に各2回）、地元保育園等との交流を年2回（夏季と冬季に各1回）実施することを、令和5年度に向け継続する。
- (2) 他者も自分も人権を尊重されるべきかけがえのない存在であることを気づかせ、すべての命を大切にする教育を行う。
 - ア 社会に生きる多様な人たちと出会う人権学習を行う。
 - イ 生徒並びに教員の健康・環境衛生の意識・関心を高める。
※令和2年度は学年単位での人権HRを2回実施した。令和5年度に向け教職員人権研修を含め、より内容を充実して継続する。

- (3) スポーツ大会や文化祭など各種行事の参加により仲間との交流を深め、豊かな心を育む。
 - ア 総合学習「ふるさと堺探検隊」の高い参加率を定着させ、事業主、保護者の理解を得て、R5年度でも75%以上の維持をめざす。(H30 89%、R1 74%、R2 75%)この行事の実施により、仲間と協同して堺の歴史と文化を学ぶとともに郷土愛を育む。ただし、R3年度に限り創立70周年の記念事業としてホーム・カミングアワーを学校行事として実施するため、ふるさと堺探検隊の行事は実施しない予定。
 - イ スポーツ大会、文化祭などの高い参加率を定着させ、令和5年度でも75%以上の維持をめざす。(H30 85%、R1 76%、R2 82%)これらの行事を通して仲間との交流の大切さを学び、コミュニケーション力の向上を通じて、豊かな心を育む。

- (4) 組織として心の問題に対処できるよう、教育相談体制や個に応じた支援体制の充実を図り、学校への定着と卒業を支援する。
 - ア 教育相談委員会の機能・機動性向上のためにも外部機関との連携を重視し、さらに外部人材の活用を図る。
 - イ 学校の課題解決に向け、教職員の専門性を高めるため、外部機関との連携を図り、教職員向け課題研修を充実させる。
※令和2年度は教職員研修を12回実施した。今後も外部機関との連携を図り、令和5年度でも必要な研修を実施する。
※最後まであきらめさせない指導により年度末の進級・卒業率（進級・卒業生徒数/年度末在籍数）を令和5年度に向けて90%以上を維持する。(H30 91.7%、R1 88.8%、R2 90.0%)

3 校務の効率化と働き方改革の推進

- (1) 学校行事を精選し、生徒に有意義でかつ教職員にとって過度の負担をかけない学校行事を精選して実施。
- (2) 「大阪府部活動の在り方に関する方針」・「府立学校における働き方改革に係る取り組みについて」などを踏まえ、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。

府立三国丘高等学校 定時制の課程

〔学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見〕

学校教育自己診断の結果と分析〔R 3年 12月実施分〕	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒】 「教え方に工夫をしている先生が多い。」「先生は生徒の意見を聞いてくれる。」「学校生活について、先生の指導に納得できる。」「担任の先生以外にも気軽に自分が気になることについて話ができる先生がいる。」という項目では昨年度より肯定率が上昇している。授業改善の取組みや生徒指導や教育相談体制の充実が成果が表れてきたと推察できる。 「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目は、昨年度は文化祭が中止となったため「校外学習は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目に差し替えたが、従来の文化祭を実施した一昨年との結果と比べて10ポイント以上上昇している。また、「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている。」という項目についても、昨年の結果と比べて10ポイント以上上昇している。新型コロナウイルス感染症対策との両立を模索しながらそれぞれの行事のあり方を抜本的に見直して、生徒が積極的に参加できるように工夫したことが功を奏したと考えられる。</p> <p>【保護者】 「先生は子どものことを理解している。」「子どもは授業がわかりやすいと言っている。」「子どもの学習内容に満足している。」「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」「気になる事柄について先生に相談しやすい。」「学校の生徒指導の方針に共感できる。」「学校は、教育情報について、提供の努力をしている。」「学校は、子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。」と答えた割合が昨年度より大幅に上昇しており、授業改善や教育相談体制の充実、生徒指導体制の改善の取組みが実を結びつつある結果ではないかと考えられる。また、「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」と回答した保護者の割合も昨年度に引き続き増加したことも大変ありがたいことである。 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」と答えた保護者の割合が58.8%と低く、昨年度より6.7ポイント低下していることについては、今後の課題として学校全体で改善策を検討する必要がある。</p> <p>【教職員】 学習指導については、「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」「年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。」という項目が昨年度より10ポイント以上の大幅減となっている。次年度入学生から実施される新教育課程と指導と評価の一体化に向けて、学習指導計画のさらなる見直しを図っていくことが急務であると考えられる。また、「校内公開授業等を積極的に推進し、教員相互の授業検討の機会を持ち、教材や指導方法など授業改善に取り組んでいる。」という項目や、「コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。」という項目については、昨年度に比べて6.7ポイント低下している。生徒1人1台端末が今年度配備されたので、これらを活用した授業づくりや授業改善の方法に向けて、校内研修や研究授業等の機会を増やしていくことが必要だと考えられる。一方、「本校では、到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。」という項目については、昨年度より6.7ポイントの上昇となっている。常勤の教員の数が削減される中ではあるが、外部人材を積極的に活用して、授業への入り込み等の個別支援を充実させたことが現れたと考えられる。 「教育相談体制が整備されており生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」という項目についても肯定率が昨年度は100%を切ったが、今年度は再び100%に戻った。様々な課題を抱える生徒の割合が増加する中、外部人材とも連携しながら学校として生徒一人ひとりの実態に即してできるだけきめ細かい個別対応を行ってきた結果が表れていると考えられる。また、「本校では、カウンセリングマインドに基づいた生徒指導を行っている。」という項目や、「教育活動において、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を作るように配慮している。」という項目、「生徒の障がいや実態の多様化に対応した適切な教育活動をおこなっている。」という項目については、今年度も肯定率100%を維持しており、「いじめが起った際の対応が整っており迅速に対応できる。」「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。」という項目についても、今年度は肯定率100%を達成することができた。 「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。」という項目が昨年度より13.3ポイント低下している。学校行事や学校の取組みなどについて、生徒・保護者や地域に積極的に広報していく必要がある。また、「学校（担任）は保護者と密接な連携がとれている。」については、昨年度は100%であったが、今年度は6.7%低下している。保護者との連絡・連携方法についても、ICTの活用など多角的に検討していく必要がある。 教職員の組織については、「教員間の相互信頼があり意見を率直に言える環境、雰囲気である。」という項目と、「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」については、昨年度は大幅に上昇したが、今年度は大幅に低下している。「学校（教員）は組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている。」という項目と、また、「学校運営に教職員の意見が反映されている。」という項目についても、昨年度より若干低下しており、教職員相互の信頼感の醸成や意思疎通の方法について、抜本的に見直しを図っていくことが必要である。</p> <p>【全体を通して】 生徒アンケートについては、「学校に行くのが楽しい。」という項目が昨年度に引き続き低い評価となっており、とりわけ3年次で低くなっていることが大きな課題である。これまでも生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導を心がけてきたが、生徒への声かけをより積極的に行うとともに、保護者や外部機関との連携を深めながら教育相談体制をより一層充実させるなどの対策が必要である。また、生徒が学校生活を楽しいものと思えるように、授業改善に引き続き取り組むとともに、学校行事をより充実したものにしていくことが必要である。 保護者アンケートについては、多くの項目で昨年度に比べて高い評価を頂いた項目が多かった。ただし、生徒アンケートと同様に、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」と答えた保護者の割合を増やすための改善策を、学校全体で検討する必要がある。 教職員アンケートについては、教育相談体制に関する項目はおおむね改善傾向にあるが、学習指導に関する項目と教職員間の信頼関係や連絡体制に関する項目は改善に向けて取組みを進めていく必要がある。今後、取り組むべき課題や問題点を精査することにより、学習指導の体制の組織化や、教職員の組織力のさらなる向上に取り組んでいきたい。</p>	<p>第1回（郵送による意見聴取） 【教育活動全般について】 ・コロナ禍対策で大変なご尽力かとお察し申し上げます。常に個々の生徒にとっての学力、社会性に関する力をつけるべくご尽力なさっておられると感服しております。 ・不登校や引きこもりが増加している現状、学校法人の通信制高校も増えていますが、公立の定時制高校と比較しますと、費用の負担も大きく、定時制高校の役割は重要と考えます。また、通学することにより、友人間の関わり方や先生方の指導のもと卒業して進学、就職と今後の人生にとっても有意義な学生生活を過ごすこともできると考えます。 【令和3年度年間行事予定について】 ・昨年度は文化祭がなくなった代わりに芸術鑑賞をされましたが、今年度もされるとのこと、大変良いことだと思います。芸術に触れる機会は、生徒たちにはさほど多いとは思われませんが、今後是非続けていっていただきたい取組みです。 【特別指導について】 ・2年次、3年次の生徒は多くの生徒が指導を受け、その結果単位修得、進級・卒業につながっている生徒が多くなっています。意識の向上が見られ、良かったと思います。 【生徒指導について】 ・6月までで喫煙が1件と暴言が1件、しかもイエローカード発行まで至らない違反ということで、学校が非常に落ち着いた状態にあることが分かります。先生方のご指導の成果だと思われませんが、どうかこの状態をキープしてください。 【教育相談体制について】 ・現段階では、堺市ユースサポートセンター（子供若者相談センター・堺地域若者サポートステーション）が直接関わるようなケースはあまりないかもしれませんが、もしお時間があればまずは先生方向けに当センターの役割や機能等をご説明させていただく機会が設けられたらとも考えております。 ・5名の方が不登校から退学されたとのことで、すべての方にそれぞれの背景がおありなので、どういったことが可能かはなんとも申し上げにくいですが、ご本人だけでなく保護者の方のご相談もお受けしていますので、何かございましたら先生方からもしよろしければ相談のお電話をいただけたらと思います。 【進路指導について】 ・卒業後、進学や就職が決定されて、若年無業者が0%であることが素晴らしいなと思いました。 ・進学先が多彩になったかと思えます。個々の特性に応じた教育が奏功したのではと推察します。 【入学者数の推移と学校広報活動について】 ・入学者数の減少、きめ細やかなご指導をなさっているのに、とても残念に思います。発達に特性がある生徒への指導も細やかに応じていることを、中学校や児童精神医や小児科医にアピールなさることも有効かと思えます（堺市医師会には伝えることができます）。 ・在籍者数で1年が今年度20人と前年度と比べかなりの減少となっているのは他の学校も同じような状況なのでしょうか？10代だけじゃなく、もっと大人世代が学びなおせるような場になればと思います。 ・志願者数の推移を確認しましたが、定時制高校の良い点が世間に浸透していないのではないかと思います。一昔前の定時制高校の役割と現在の役割は違ってきていますので、今後も府内の中学校などの進学担当教師と連携を取りながら、定時制高校の広報に努めていただけたら、志願者数も増加すると思います。私も、定時制の良い点などの広報に努めたいと思います。</p> <p>第2回（郵送による意見聴取） 【特別指導について】 ・特別指導について、3年生の対象者数が多いですが、全員が指導を受け取れるようでしたので、加点されていると思います。が、何か原因があったのでしょうか。在籍数から計算しますと、29%が対象となっていますので、気になっております。 ・特別指導の対象者になったほとんどの人が受けられて良かったと思います。先生方の熱心なご指導が生徒にも伝わっていると思います。 【生徒指導について】 ・携帯電話、SNS関連の指導軽減は素晴らしいと思います。先生方と生徒との関係性が良好であること、先生方の生徒との関係構築の工夫が功を奏していると考えます。 ・懲戒指導は昨年と比べ少なくなっているように思いますが、勘違いですかね？ ・懲戒指導を受けた生徒数も件数もとても少なく、学校が落ち着いたことがよくわかります。イエローカードもR02、R03年は0枚で、マナー違反もなく、すばらしい状況だと思います。ぜひこのまま続けて下さい。 【部活動について】 ・陸上競技部女子の部総合優勝をはじめみなさんのご活躍おめでとうございます。素晴らしいですね。 ・部活動実績につきましては、素晴らしい成績、おめでとうございます。加入状況についても、たくさん生徒さんがクラブ活動されておられることにびっくりしました。大変良いことだと思います。 ・部活動加入率が44%は、定時制として厳しい状況の中、立派だと思います。また、陸上部もよく頑張っておられ、すばらしいと思います。 ・私事ですが、定50回生でスタートしたテニス同好会が現在も活動されている事に感動しました。 【健康診断について】 ・定期健診の受検者数、受検率が大きく向上していて、先生方の取組みの成果だと思います。10ポイント近いアップは素晴らしいと思います。 【進路指導について】 ・進路状況も先生方の取組みのおかげだと思います、ありがとうございます。 ・進路指導については、10月25日現在の数字なのでまだ途中だと思いますが、ぜひ全員が希望通り進めますよう、ご指導よろしく願います。若年無業者0%をめざしてください。 【生徒支援体制について】 ・今すぐに対象の生徒さんがいらっしゃらないかもしれませんが、何か必要な時は、堺市ユースサポートセンター（子ども若者相談センター／堺地域若者サポートステーション）にお電話いただければと思います。（過去、他定時制高校から相談いただいた内容・・・不登校／中退決定後の相談／中退防止／学校だけのキャリア教育（就職準備）では難しい生徒への相談、セミナー実施 等）</p> <p>第3回（郵送による意見聴取） 【教務部関連事項について】 ・特別指導について、考察にありますように、生徒さんの意識の表れと思いますが、前期も後期も1年生の受験人数が少ないのは気がかりです。 ・総合講座を1年後期からとれるようになるのは、いいと思う。生徒の興味・関心に基づく講座をとれるので。 【生徒指導部関連事項について】 ・学校が非常に落ち着いた状況であるのがわかる。このままでいって下さい。 ・SNS講習会他、外部講師による講習会のアンケートより、生徒個人の違いは否めないが、多くの生徒が自分の体験と照らし合わせて受講したかと思えます。今後も必要な企画と思えました。 ・各講習会の事後アンケートについて、A（とても良かった）、B（まあ良かった）の回答がほとんどでしたので、子供達の為になる内容だったと思います。今後も同様の講習会の開催をお願いします。 ・「SNS講習会」、「交通安全講習会」、「薬物乱用防止教育」の事後アンケートの結果がいずれも肯定的意見が90%以上であった。それぞれ生徒にとって必要なことをしっかり教えていただけた講習なので、今後もぜひとりくんでいただきたい。 【進路指導部関連事項について】 ・令和4年度から複数応募が可能となったので、就職指導強化月間を設けられたのは良いと思う。ぜひ生徒の進路実現の希望をかなえてあげて下さい。 ・今年度も就職と進学の実績100%、若年無業者0%を保持して下さい。 【生徒支援体制について】 ・来年度以降も、堺市ユースサポートセンター（子ども若者相談センター／堺地域若者サポートステーション）で何かお力になれることがありましたら、ご相談いただけますと幸いです。</p>

府立三国丘高等学校 定時制の課程

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 2年度値]	自己評価
1 学力伸長と進路実現 (本校のキャリア教育の確立)	(1) 学力の定着と伸長 ア 研究授業、授業アンケートの効果的活用	(1) ア・授業力向上を図るため、各教科での授業アンケートを活用し、教員間の相互授業見学、研究授業・研究協議を実施する。	(1) ア・年2回以上研究授業を行う。 ・授業アンケートを年2回実施し、後期の評価の平均を前期より向上させる。 ・授業力向上を行うための研修を実施。	(1) ア・2年め教員1名と10年めまでの教員3名が研究授業を計4回実施。(◎) ・授業アンケートを7月と12月に実施した。(○)学校平均は前期3.29 後期3.19 (昨年前期3.30 後期3.34)。(△) ・生徒1人1台端末を用いた授業力の向上のため、ICT活用の研修を計2回実施。(◎)
	イ 学ぶ意欲を引き出す	イ・多岐にわたる総合講座等を実施し、自己肯定感を高め、学ぶ意欲を引き出す。	イ・図書室の有効活用。年度末のアンケートで肯定的評価70%をめざす[100%]。	イ・図書室の活用については、英語演習の授業で調べもの学習等を、総合学習で読書活動等を行った。(○)アンケートでの肯定的評価は100%。(◎)
	ウ わかりやすい授業をめざして	ウ・わかりやすい授業をめざし、ICT機器等の活用を図り、実技、実習・実験を工夫する。	ウ・生徒の自己診断「授業はわかりやすい」の肯定率70% [70.1%]。 ・自己診断「教え方に工夫をしている先生が多い」の肯定率75% [72.6%]。	ウ・「授業はわかりやすい」73.4%。(昨年度比3.3up)。(◎) ・「教え方に工夫をしている先生が多い」78.9% (昨年度比6.2up)。(◎)
	エ 基礎学力の定着・向上	エ・英語・数学での習熟度授業で生徒の基礎学力定着、向上を図る。	エ・基礎学力診断テスト(1年国・数・英)の4月から2月での伸長度30%増とする。[国語4.6% 数学未実施 英語71.7%]。	エ・基礎学力診断テスト(1年国・数・英)の4月から2月までの伸長度は3教科の平均値が34.8%となり、一定の向上が見られた。(○)
	(2) 年次段階に応じた適切な進路指導と情報の提供・理解	(2)	(2)	(2)
	ア 組織的な進路指導体制	ア・進路部中心に進路指導体制の全体計画を立案し、進路・担任の合同会議で適宜調整する。	ア・進路・担任合同会議を定期的(年5回以上)に開催。[6回]	ア・進路・担任合同会議を6回行った。生徒の情報共有ができた。(○)
	イ キャリア教育の推進	イ・多様な生徒のニーズに応えるべく、進路説明会を「概要説明」→「進路決定に必要な準備」→「志望校の決定や求人票の見方」と段階的・体系的に実施する。 ・キャリアパスポートを活用し、進路意識の段階的醸成をめざしたキャリア教育を実施する。	イ・1・2年次生への進路説明会を年2回、卒業学年への進路説明会を年3回実施[1・2年次生2回 卒業学年3回]。 ・各学年に応じたキャリア教育を年3回実施[3回]。	イ・1・2年次生には2回(7月・2月に各1回)。卒業学年には4回(4月、5月、6月、7月に各1回)実施。各説明会が生徒にとって進路選択をするためのいい機会となった。(○) ・1回目は6月に実施。(1年次生:一般職業適性検査、2年次生:進路指導の概要、3・4年次生:求人票の見方・就職におけるルール。)2回目は12月に実施。(1・2年次生:専門学校による出前授業、3・4年次生:社会保険労務士講話:労働条件について。)3回め1月に実施。(1年次生:卒業生講話、2年次生:マネー講座、3・4年次生:社会人になるにあたって。)各学年の課題に応じた内容の取組みができた。(○)
	(3) 進路実績の向上	(3)	(3)	(3)
	ア 広報活動	ア・積極的な広報活動により、三国丘高等学校定時制の存在をアピールする	ア・卒業生の進路先などを更新し、毎年新たな広報用資料を制作。新たな企業開拓、学校説明に活用。 ・緊急時にはSNSを活用し適切に情報提供に努め、学校webページを30回更新する[85回]。	ア・学校説明用リーフレットについて時点変更を行った。学校パンフレット及びリーフレットを中学校74校に送付。(○) ・本校webページを学校行事の実施後に7回、それ以外に23回の計30回更新した。(○)SNSを使った情報提供を4回実施済。(○)
	イ 応募前職場見学の実施	イ・学校紹介による就職希望者全員に応募前職場見学を実施させる。	イ・就職希望者全員に応募前職場見学を2回以上実施[2回/生徒]。	イ・就職希望者全員に応募前職場見学に2回以上参加した。(16名の生徒が延べ50社に見学。)複数社に見学することを条件とすることで進路決定がスムーズにできた。(◎)
ウ 個別指導体制	ウ・進路面談、面接・履歴書指導を行い、生徒個々に合わせた指導体制を作り進路実績の向上をめざす。	ウ・就職・進学希望者全員への面談を2回以上実施。 ・履歴書講座の実施[2回/生徒]。	ウ・就職・進学希望者全員への面談を実施。個々の事情に応じた相談や指導ができた。(○) ・7月に実施。生徒の意欲向上に効果があった。(○)	
エ 卒業予定者の若年無業者の減少	エ・ハローワークと連携し、卒業後の若年無業者を減少させる。	エ・若年無業者(進学・就職等を希望しない生徒を除く)の割合5%未満を維持[0%]。	エ・若年無業者は3月末現在で3.0%。(○)	

府立三国丘高等学校 定時制の課程

<p>2 心の教育の充実（モラル教育に重点を置いた教育体制の構築）</p>	<p>(1) 他者を尊重する姿勢の育成 ア ボランティア活動の実施 イ 地域交流の推進 (2) 人命尊重の教育の推進 ア 多様性を学ぶ人権学習を実施 イ 健康への関心を高められる健康診断受検率の維持 ウ 健康・安全への関心を高める エ 美化意識を高める オ 環境への関心を高める (3) 各種行事の参加により自尊感情を高める ア 母校愛を育む イ 仲間との交流を通し豊かな心を育む (4) 教育相談の充実と学校への定着・進級・卒業の支援 ア 三国丘（定）の存在を地域にアピール イ 支援を必要とする生徒の情報共有 ウ 外部機関との連携強化 エ 日本語支援の必要な生徒の困り感を解消 オ 相談機関との連携 カ 学校課題解決に向けて キ 相談しやすい環境づくり ク 進級・卒業率向上をめざして</p>	<p>(1) 自己肯定感を高める目的で、生徒会を中心に下記を実施 ア・地域との連携を踏まえ、地域清掃ボランティア活動を行う。 イ・地元保育園との交流活動を計画・実施する。 (2) ア・社会に生きる様々な人たちと出会い深く考える研修や人権学習を企画する。 イ・生徒の健康への関心を高め、疾病の早期発見・早期治療をめざすため、健康診断受検率を維持する。 ウ・生徒の健康・安全への関心を高めるため、生徒向け各種研修を実施する。 エ・清掃活動を通して、生徒の美化意識を高める。 オ・生徒の環境への関心を高めるため、生徒保健委員会を開催する。 (3) ア・創立70周年記念行事の一環としてホームカミングアワーを実施する。 イ・スポーツ大会、文化祭などの行事を活用し仲間との交流を通して、コミュニケーションの大切さを学び、豊かな心を育む。 (4) ア・多様な支援を必要とする生徒に三国丘（定）の存在を地域にアピールすべく広報を行う。 イ・支援を必要とする生徒の情報を共有し情報交換を行うため、SCやSSWを活用し、教育相談委員会を定例で開催する。 ウ・帝塚山学院大学大学院と連携し、ハートケアサポーター機能を高める。 エ・日本語支援の必要な生徒の困り感を低減する。 オ・外部の相談機関等との連携を継続強化する。 カ・本校が直面する学校課題解決に向け、教職員向け研修を実施する。 キ・担任、SC、SSW、教育相談委員会の連携システムを強化し、生徒が相談しやすい環境づくりを行なう。 ク・最後まであきらめさせない個々の生徒への指導・支援により、学校への定着を図り、進級・卒業を支援する。</p>	<p>(1) ア・地域清掃ボランティアの生徒参加者1日10名をめざし、年2回（夏季と冬季）実施[平均22名/日参加]。 イ・地元の保育園との交流の生徒参加者1回7名をめざし、年2回実施[未実施]。 (2) ア・人権教育推進委員会が中心となって教員向け2回、生徒向け2回実施[2回]。 ・SNS等情報モラルについて年1回実施[1回]。 イ・健康診断の受検率85%以上をめざす[89.1%]。 ウ・薬物乱用防止、交通安全講習等必要なテーマで研修を計画的に行う。生徒アンケートの肯定評価を80%以上をめざす[薬物乱用88.6%、交通安全講習95.9%]。 エ・全生徒による大掃除を年間2回実施[1回]。 オ・生徒保健委員会を年間4回実施[2回]。 (3) ア・70周年記念行事における生徒の行事参加率の75%以上の維持をめざす [ふるさと堺参加率75%]。 イ・スポーツ大会及び文化祭における生徒の行事参加率それぞれ75%以上の維持をめざす[スポーツ大会82.0%、文化祭は未実施]。 ・生徒の自己診断「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定率80%以上をめざす[未実施]。 (4) ア・堺市内を中心に30校の中学校訪問を行ない、本校の良さをアピールする[1校]。 イ・教育相談委員会を月1回以上開催。職員会議等で月1回情報共有を行う[1回/月]。 ウ・公認心理師候補の大学院生が教育相談のサポーターとして年40回来校し生徒支援にあたる[110回]。 エ・日本語支援の教育活動をすすめ、当該生徒の取り出し授業を45回実施することにより、進級または卒業をめざす[75回]。 オ・SSW等のアドバイスを参考に、外部機関との連携を必要に応じ実施 実施目標15回[26回]。 カ・教職員向け研修を年6回開催する[14回]。 キ・生徒の自己診断「担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる」の肯定率70%以上をめざす[75.2%]。 ク・年度末の進級・卒業率（進級生徒数/年度末在籍数）90%以上を維持する[90%]。</p>	<p>(1) ア・地域清掃ボランティア（夏季）は2日間でのべ76名が参加。（冬季）は2日間でのべ41名が参加。[平均29.25名/日参加]（◎） イ・地元保育園との交流会は新型コロナウイルス感染症のために今年度も実施できず。代替として生徒のべ11名で段ボールを用いた魚釣りセットとクリスマスプレゼントのパズルを作成して園児に贈呈した。（○） (2) ア・教員向け2回、生徒向け2回実施。（○） 【生徒向け】 6/22各年次単位により実施。 1/25各年次単位により実施。 【教員向け】 6/10「同和教育について」 10/4「和泉市立人権文化センター人権資料館」見学、同和地区フィールドワーク ・（人権・生指）SNSに係る講習は4/14に全学年対象に実施済。（○） イ・健康診断の受検率96.9%。（◎） ウ・薬物乱用防止教室は1/21に実施し、アンケートの肯定的回答は96.2%（◎）。交通安全講習については7/16に実施し、アンケートの肯定回答は96.7%。（◎） エ・大掃除は7/19・20と12/22・23の2回実施。（◎） オ・生徒保健委員会は9/24、10/28、2/15の3回の実施にとどまったが、その実施した3回で当初想定していた目標を完遂することができた。（－） (3) ア・70周年記念行事は11/27に実施。参加生徒数は87名、参加率は71%（令和2年度ふるさと堺探検隊は96名75%）、当日欠席者への指導は12/27に実施済。対象者13名中11名参加。参加率84.6%（令和2年度ふるさと堺探検隊は20名90%）。（△） イ・スポーツ大会参加率72%、（△）文化祭参加率82%。（◎） ・「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている」85.3%。（◎） (4) ア・今年度も新型コロナウイルス感染症のため中学校訪問は実施できなかったが、堺市内並びに隣接する74校の中学校に資料送付を行った。（－） イ・月に1回教育相談委員会を行った（○）。生徒の情報共有は職員会議や職員連絡会で適宜行っている。（○） ウ・今年度は4名のサポーターが週3回、延べ66回来校。（◎） エ・外国語を母語とする生徒に対し、国語と社会で抽出授業を計104回実施し、該当生徒2名ともに進級させることができた。（◎） オ・今年度も、フードバンクを活用した経済的に厳しい生徒への食糧支援を実施し、外部機関との連携を25回実施。（○） カ・人権研修2回、ICT活用研修2回、ハラスメント防止研修1回、AED講習1回の計6回実施。（○） キ・「担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる」81.7%。（◎） ク・年度末時点での進級・卒業率86.2%。（△）</p>
<p>3 校務の効率化と働き方改革の推進</p>	<p>(1) 学校行事を精選。 (2) 働き方改革の実行と推進 (3) 報告・連絡・相談体制の徹底と教員間の相互信頼関係の構築</p>	<p>(1) 生徒にとって有意義な行事の実施。 (2) 教職員の心と健康を守るため、長時間勤務の是正を図る (3) 教員間が互いに信頼しあえる学校の風土づくりに努める。</p>	<p>(1) 生徒の自己診断「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定率80%以上をめざす [64.1%]。 (2) 定時退庁日については、教職員ごとに週に2日以上設け[2日]、ノークラブデーについても、クラブごとに週に2日以上設定する[2日]。 (3) 学校教育自己診断の「組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている」という項目については、80%以上[90.0%]。「意見を率直に言える雰囲気である」という項目については70%以上[85.0%]。</p>	<p>(1) 「スポーツ大会は楽しく行えるよう工夫されている」78.9%。（昨年度比14.8up）。（△） (2) 全職員については、平日に1時間を超える残業を行っている者はほとんどいない。クラブにおいて、すべての部活動において週2回以上、平均2.75日活動しない日が設けられている。（○） (3) 「組織として『報告・連絡・相談』が徹底されている」86.7%。（◎） 「意見を率直に言える雰囲気である」73.3%。（◎）</p>